

経営比較分析表（平成30年度決算）

青森県おいらせ町 国民健康保険おいらせ病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	6	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
25,214	3,817	第2種該当	10：1	

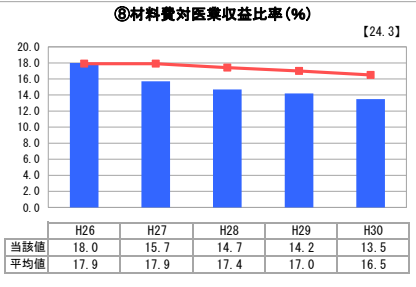
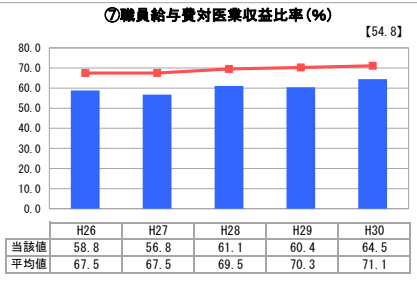
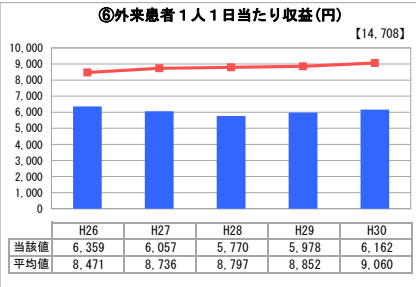
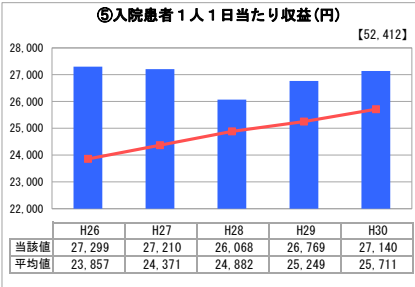
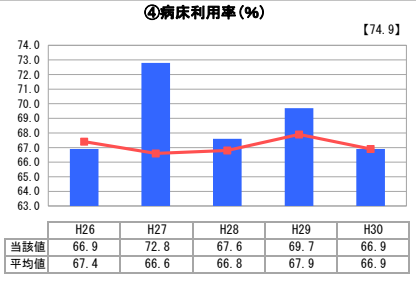
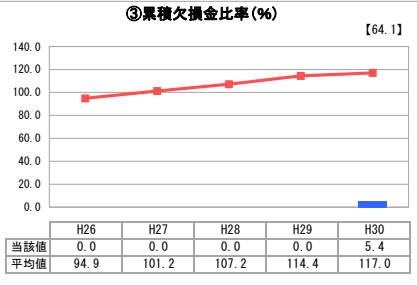
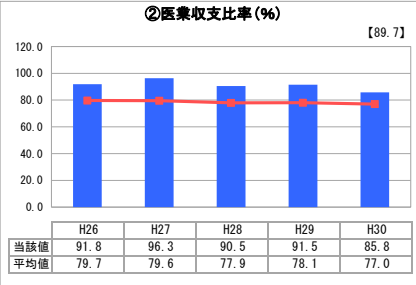
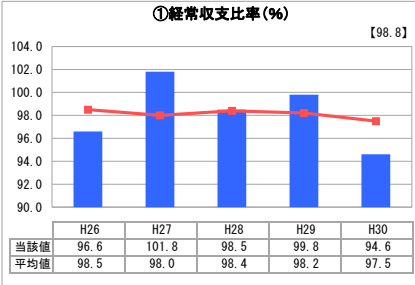
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

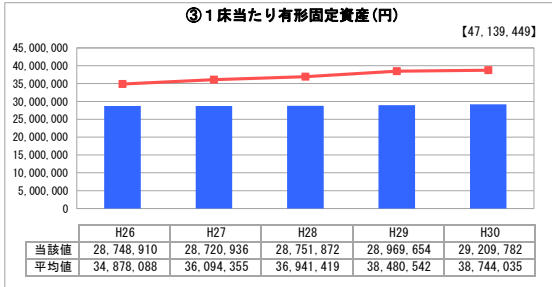
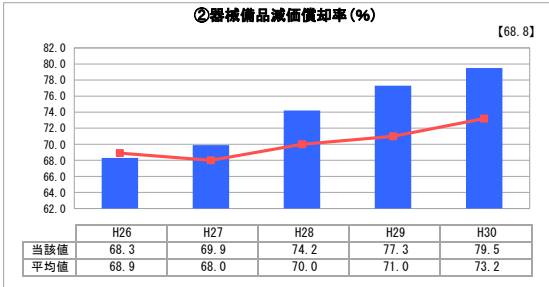
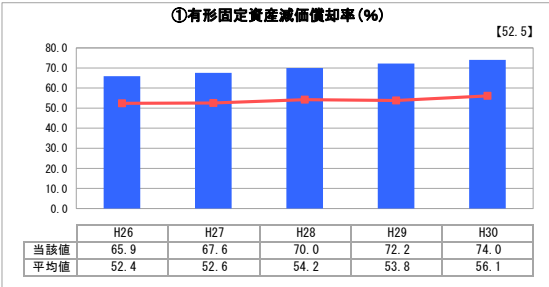
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
78	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	78
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
74	-	74

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割
少子高齢化と在宅医療ニーズの増加により、高齢者医療を中心とする地域病院としての役割を担うべく、町内の医療機関及び近隣の介護・福祉施設と連携して在宅医療を進める。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成30年度は、経常収支比率が95%未満となり、累積欠損金も生じた。類似病院平均値と比較して高い入院患者1人1日当たり収益の水準を保ちつつ、類似病院平均値と比較して低い外来患者1人1日当たり収益を増加させるため、外来患者数の長期低落傾向への対策と入院患者の安定確保を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

建物は建築から約38年経過しているが、大規模リフォームを2回実施し、耐震性もあるため、耐用年数までは、水道配管等の補修で対応する。

全体総括

医療圏の中核病院等との連携体制の強化により、地域包括ケア病床とのバランスを図り、急性期から一部回復期への病床機能変更を進め、病床利用率の安定化と効率的かつ効果的な医療体制の構築を図る。また、在宅復帰した患者の訪問診療体制の強化、小児科診療日数の増により、外来収益の増を図る。新病院建設については、今後10年から15年程度で、県の医療計画と八戸地域医療構想を勘案しながら計画する。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。